

だれもが自分らしく
安心して暮らせる
地域協同社会づくりに
貢献します



コミュニティケア街ねっと

つなぐ〜る

2023 年冬号
vol.53

地域をつなぐ・人をつなぐ・心をつなぐ

キーワードは
つなぐ・つながる

＜特集＞
P2 エンゼルヘルパー

2022 年
10 月～

千葉市で「里親育児サポーター事業」スタート！



千葉市は里親制度推進に力を入れています

保護者の病気や死亡、あるいは虐待など何らかの事情によって家庭では生活できない子どもたちを、公的な責任のもとで養育することを「社会的養護」といいます。児童養護施設などでの「施設養育」と、里親の元で養育する「家庭養育」があり、国は方針として里親への委託を広げていこうとしています。

必要なのは里親への支援

「里親」とは、子どもを自らの家庭に迎え入れ、家庭のぬくもりの中で愛情を持って養育してくれる方のことです。里親の家に来る子どもは、それまでの育ちの中で傷ついていることが多く、自分をきちんと受け入れてくれるのかを試すために暴れたり、年齢に応じた生活習慣を身につけていないことがあります。子どもと向き合おうとする里親が疲れ切ってしまうように、里親自身への支援も必要なのです。

街ねっとのケア者が里親育児サポーターに

そこで里親家庭の支援を行う里親養育包括支援(フォスターリング)事業のひとつとして、千葉市で「里親育児サポーター事業」が始まりました。新たに子どもを受け入れてから 5 年以内の里親家庭にヘルパー(サポーターという)を派遣して、家事や育児を援助するという事業です。これまで地域づくりや子育て支援など、福祉に関するさまざまな活動をしてきたことや、千葉市エンゼルヘルパー(産前産後のヘルパー派遣)での実績から、千葉市東部児童相談所より委託されました。

里親へのサポートで子育てを支える

子どもが健やかに成長するためには、誰かに大切にされているという実感の積み重ねが必要です。それを担う里親の存在ははとて大きなものです。里親が心に余裕をもって子どもたちを育むことができるように、私たちがサポーターとして支えていきます。

「令和 3 年度千葉市の里親委託率」

児童養護施設などに入居
61.8%

里親・ファミリーホームで同居
38.2%

→ 33世帯の里親と6世帯のファミリーホームで
65人の子どもたちが暮らしています。

里親家庭の実情を学び、ケアの必要性を感じました ～里親サポーター養成研修～

8/30(火)10名、9/26(月)12名参加



10 月からの里親育児サポーター派遣に先立って、支援に入るケア者を対象にサポーター養成研修が行われました。千葉市東部児童相談所からのガイダンスの後、里親制度の意義や、里子となる子どもたちの状況について説明を受けました。

虐待を受けた経験は将来にわたって傷を残してしまうこと。

里親と過ごす家庭での経験がとても大切なこと。

など、実際に里親登録している方からもお話を伺うことができました。



ひとりで
悩まないでください

産前産後の強～い味方

千葉市の場合

エンゼルヘルパーをご存じですか？



妊娠中、または出産後1年未満の子どもを抱えている家庭で、昼間、家事や育児を手伝える方がいない場合などを対象に、千葉市と契約を結んだ事業者からヘルパーを派遣し、身の回りの家事や育児を援助し、子育てを支援する制度です。街ねっとはその事業者のひとつで、市の委託を受けています。

利用期間

妊娠中～出産後1年未満

利用回数

1回2時間 1日2回まで 計30回
※多胎児の場合は計50回

支援

<家事支援>

- ◆ 食事の準備や後かたづけ
- ◆ 衣類の洗濯、補修
- ◆ 居室等の日常的な掃除、整理整頓
- ◆ 近隣店舗での持てる範囲の買い物
- ◆ 関係機関との連絡
- ◆ その他必要な家事援助

<育児支援>

- ◆ 授乳
 - ◆ おむつ交換
 - ◆ 沐浴介助
 - ◆ 適切な育児環境の整備
 - ◆ その他必要な育児援助
- ※留守番や育児相談はできません。

対象世帯

千葉市内在住で、①②いずれかに当てはまる世帯。

- ① 妊娠中または出産後1年未満で、昼間に家事または育児を行う者が他にいないため支援が必要な世帯。
- ② 多胎による出産後1年未満で、当該出産により出生した子を養育する世帯。

※出産後の支援については、原則として自宅で子を養育している場合に派遣の対象となります。

料金

1回2時間	1,680円
A 生活保護・市民税非課税世帯	無料
B 所得税非課税世帯	250円

A、Bは、申請に証明書が必要です。

※駐車場利用料金は利用者の負担となります。

★初回無料！

母子健康手帳の交付時に配布する無料クーポンで、初回利用料が無料となります。クーポンをお持ちでない方には、初回利用時にお渡します。

申し込みは
千葉市へ

<千葉市幼保支援課>

Tel 043-245-5180

Email angel@city.chiba.lg.jp

手続きなど詳細は、
千葉市エンゼルヘルパーで検索！



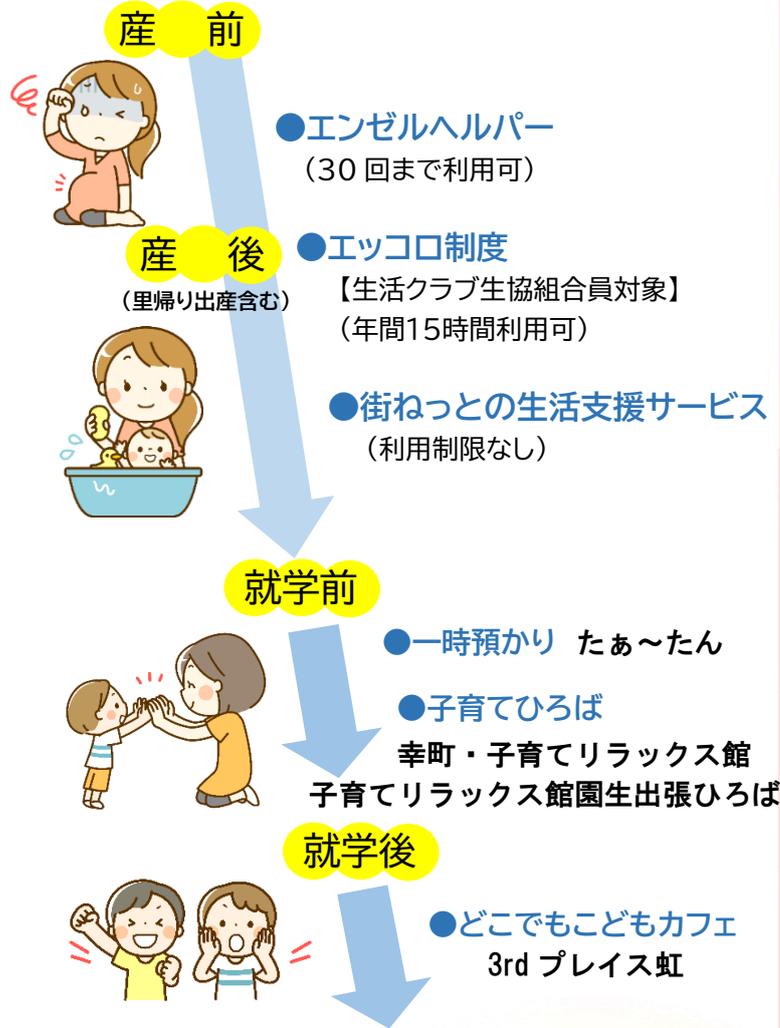
ほかにもあります、子育て応援！

街ねっとなら

ニーズに合わせて使って、長～いおつきあい



<サービスの利用例～千葉センターの場合>



困っているときに 助けられました！

職場復帰の強い味方

3人目の男の子を出産したときにエンゼルヘルパーを利用しました。長男、次男もやんちゃな幼稚園児で、家事と育児でへとへとでした。職場復帰するにあたり、ぜったいに家がまわらなくなると思って生活支援サービスを契約。仕事がお休みの日に、たまった家事を一緒に片づけてもらいました。1週間分の掃除や洗濯がはかどり、子どもたちが帰って来るまでに少しのんびりする時間が持てました。

制度のこと教えてもらって、ホントに助かりました！

デポー園生での買い物中にエッコロコーディネーターから声をかけられ、エッコロ制度の我知道了。翌週に切迫早産で入院。入院先から連絡し、さっそくエッコロとエンゼルヘルパーを組み合わせて利用しました。退院後は自宅で絶対安静。動きたくても動けないのは大変でしたが、夕食準備をお願いしてあると気持ちが軽くなりました。たくさん作り置きもしてもらったので、「明日のおかずがある」と思うだけでゆっくり横になることができました。出産までの期間を支えてもらって、本当に心強かったです。



千葉センター登録ケア者 21名



私たちが子育てをサポートします！

まるでおばあちゃんのような存在

妻がベトナム人、夫がモンゴル人、子ども4人のお宅は、エンゼルヘルパー終了後に生活支援サービスにつながりました。エンゼルヘルパーではできなかった幼稚園バスのお迎えに行き、お母さんが帰るまで子どもたちと一緒に留守番。エンゼルの頃から訪問しているので、子どもたちにとって私はまるでおばあちゃんのような存在。帰ってきたお母さんに「ゲーム時間が長かったから、話をしておしまいにしたわ」と言うと、「私が言ってもきかないのに！」と驚かれました。

コロナ禍で孤立するママ

この数年は新型コロナの影響で里帰り出産ができない、実家にも頼れないという方が多かったです。特に1人目出産の方はママ友をつくるきっかけも失い、孤立した中でワンオペ育児の場合も…。ケアに入ると、「やっと大人と会話ができました」と涙ぐんでしまう方もいました。

プチお料理教室

最近は外国籍の方からの依頼も多いです。食事作りでは日本食の作り方を教えて欲しいと言われて、ちょっとしたお料理教室になることもあります。漬物や煮魚、出汁をとって一緒に素麺つゆを作ったりしました。

それぞれの形で社会参加している
「人」をクローズアップ



～詩人&生き物はかせ～【八街センター】
人は自然のなかで生かされている

昨年10/15に開催したあみいこ企画「風の杜ひろば物語」の特別講師として参加してくれた“生き物はかせ”大島さん。

風の杜ひろばを散策しながらしてくれるお話が、まるで生き物目線で、「人間は地球上のあらゆる生き物のただの1種類にすぎない」と実感させられました。自然破壊により崩れゆく生態系の中、私たちにできることは？と考えるきっかけをくれました。

Q. この仕事に就いたきっかけは？

とにかく詩と生き物が好きで、気がついたらこうなっていました。(笑)

Q. お仕事内容や思うことは？

世界に発信する「詩人」、房総半島の里山を舞台とした「ネイチャーガイド」という2つの仕事をしています。この2つは一見、何の関係もないもののように思われるかもしれませんが、ひとりひとりの人と、人を取り巻く大きな何かとの接点となることを目指す仕事だという点では同じです。

詩は人の心が世界と接した時に生まれます。また同時に、人は自然の事象や生き物たちの中で生かされている存在であるからです。

Q. 企画講師をした感想は？

風の杜ひろばには、そこにかかわる人々の気持ちと、里山の小さな生き物たちの姿が溢れていました。どちらも私の大好きな、一番大切に思っているものです。参加して下さった皆さんが、何かひとつでも、普段の生活の中では感じられなかったことを感じていただけていたら、心から幸せに思います。



▲池をのぞいても、転がっている木を持ち上げても、そこには生き物がわんさか！子どもおとも興味津々！（青い帽子が大島さん）



▲大島 健夫さん



各センターで人材大募集！
あなたの魅力を貸してください。

ボ ボランティア 参 参加者 仕 仕事 場 場所利用

【八街センター】 Tel 043-440-0181

- ・買い物バス ボ 運転手
- ・風の杜ひろば ボ 草取り
- ・子育てサロン ボ 参 運営スタッフ
- ・喫茶アルルカン・風のロτζジ 場 活動グループ

【柏センター】 Tel 04-7170-0939

- ・街の縁側よってって ボ 運営スタッフ
- ・生活支援サービス 仕 ケア者

【千葉センター】 Tel 043-290-8017

- ・地域食堂 ボ 参 調理や運営スタッフ
- ・こどもカフェ ボ 運営スタッフ
- ・生活支援サービス 仕 ケア者
- ・あみいこ 参 講座参加

☎ 各センターにお問い合わせください

コーディネーター
富永から！！



大島さんはあみいこのテーマにぴったりの方です。生き物目線の本の出版や詩のYouTube配信もしています。虫嫌いな人、心がモヤモヤしている人、ぜひ一度ご覧になってみてください！

お知らせ

- ◆八街センターあみいこ企画 【Tel 043-440-0181 富永】
2/18(土)「風の杜ひろばで自然と遊ぼう」
- ◆安心システムいなげ「みんなの食堂」【要予約 Tel 043-290-8017】
毎月第2金曜日 5時～6時半。会場：いなげビレッジ地域活動スペース虹
- ◆本紙を送付する際、会員の方には確定申告のための寄付(会費)領収証を同封しています。(既に発送済の方もいらっしゃいます)

特定非営利活動法人(認定NPO法人)

コミュニティケア街ねっと

【発行責任者：岩上 章子】

〒263-0051 千葉市稲毛区園生町 1107-7
【Tel】043-290-8015 【Fax】043-290-8016
【E-mail】info@ccmachinet.jp
【URL】https://www.ccmachinet.com
2023年1月発行

